

「楠田大蔵市長と語る会」(要点記録)

- 行政区 連歌屋区
- 日時 令和2年11月10日(火)午後7時～午後8時50分
- 場所 太宰府館(まほろばホール)
- 出席者 (市民) 9人(当該区:7人、未記入2人)
(執行部) 9人
市長、副市長、教育長、総務部長、総務部理事、健康福祉部理事、
都市整備部長、観光経済部長、教育部長
(事務局) 4人
経営企画課長、地域コミュニティ課長、広聴広報係長、広聴広報
係員
- 会議内容
 - 1 開会のことば 午後7時～
 - 2 自治会長あいさつ 午後7時4分～
 - 3 市政報告 午後7時6分～
 - 4 意見交換(別紙) 午後8時12分～
 - 5 閉会のことば ～午後8時50分

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 1	意見 1	<p>連歌屋だけでも十数件ほど空き家があり、中には台風や強風で壊れてしまいそうな家もある。また、庭に切った木を山積みになっている家もあり、不審火で家事が起こる可能性もある。持ち主がおられるので、市としても（対応に）大変なのは分かる。しかし、2年前に私の孫が遊んでいる近くに空き家のブロックが落ちてきたこともあって危険。住民の安全のためにも空き家対策に力を入れてほしい。</p>	<p>（市長）</p> <p>空き家問題は全国的に関心が高く、市としても先日、空き家対策の計画を作りました。さらに、公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会と空き家対策についての協定を締結しました。一方で、所有者がいらっしゃることで、勝手に立ち入ることも難しく、所有者には要望、指導などを行っているところです。とはいえ、課題は山積しておりますので、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>（都市整備部長）</p> <p>周辺の皆さまには、空き家問題で大変なご迷惑をおかけいたしております。特に9月の台風10号の時には、管理が行き届いていない空き家の所有者へ、市から連絡をさせていただき、保全などのお願いをいたしました。また、一部の空き家については職員で対応したものもあります。</p> <p>日ごろから、担当の職員が訪問や文書などで複数回にわたり、所有者へ連絡しております。その甲斐あってか、太宰府市においては、若干ですが解体などが進んでおります。今後とも空き家所有者に向けて、保全、解体へのお願いは継続していきます。</p>
	意見 2	<p>先日、防災課に来てもらい会議を開いたところ、連歌屋の土地が軟らかいということが分かった。醍醐地区の側溝が40、50年前のものだが、集中豪雨が起きた場合に耐えられるのか。建設課に申請はしている。</p> <p>また、御笠川、原川に葦が生え、砂が堆積しているが、災害時は大丈夫なのか。近くに避難場所となっている公民館があるが、「怖い」といって利用する人が皆無。二つの川が氾濫すると孤立する地区もあるので、整備をお願いしたい。さらに、御</p>	<p>（市長）</p> <p>防災に関して、まず側溝の件ですが、毎年予算は確保しておりますので、住民の同意を得て整備を進めたいと思います。御笠川と原川の砂の堆積については、つねづね県にはお願いをしております。また、川のそばに公民館がある地域もあるので、その際は体育館を利用させていただくことなども勧めております。</p> <p>（都市整備部長）</p> <p>醍醐地区の側溝については、市でも何度</p>

		質問・意見等	区に対する回答
		笠川、原川の土手に雑草が生い茂っているので、整備してほしい。建設課には写真を提出している。	<p>も確認し、自治会との協議の上、対応させていただきますと思います。また、御笠川と原川の河川管理は県になるので、県の整備事務所には毎年度、要望を出しております。平成 29 年度だったと思いますが、太宰府小学校下・朝日橋辺りの浚渫を実施していただいています。しかし、再び堆積しているため、10 月に県へ要望を出しております。</p> <p>【後日回答：都市整備部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後側溝工事については、市営土木として自治会から上げてもらい、自治会と協議のうえで工事を実施していきます（複数年での実施になることもあります）。 ・河川については、県要望をしているので、来年の出水期までに浚渫をしてもらうように再度確認を行います。
質問者 2	意見	コミュニティバス運営費の自治体負担率を下げしてほしい。	<p>(市長)</p> <p>運行本数の削減によって経費も減ってはおりますが、コミュニティバスの運営費として市も年間 1 億 5000 万円を超える負担をしております。運行当初の負担額は 5000 万円ほどでしたが、路線の拡張などにより利便性を上げたことで、市の負担額は増えております。対策として、市外の方が利用される場合は料金を高くするなど、検討を進めている状況です。市民の方に納得をしていただきながら、財政のスリム化も目指していければと思っております。</p> <p>(総務部長)</p> <p>連歌屋地域線の運行経費について、平成 30 年度が約 275 万円、便数が減ったことで令和元年度は約 197 万円になっております。気になっているのが、1 便あたりの利用者数の減少です。当初は 2.3 人だったの</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>が令和元年度は 1.6 人に減っております。自治会で努力をされているとは思いますが、利用者数を増やしていただければと思います。全国的に、利用者数の減少による廃路線の話を多数聞きますし、一方で地域の路線を守っていききたいとも考えています。市としても対策を考えておりますが、皆さんの方でも、コミュニティバスを支えて育てていただければと思っております。</p>
質問者 3	意見 1	<p>20 年、30 年先の税収を考える場合、子育て世代を増やしていく必要があると思うが、移住するためのメリットが感じられない。子育て世代を呼び込むための施策はあるのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>太宰府市は、筑紫地区の中でも高齢化率が 27.8%とトップです。子育て世代を増やしていくことは、安定した税収の確保に加え、地域活性化にもつながり、これからの本市の施策の中でも重要な部分です。現状は潤沢ではない財源を知恵で補っており、奏功した例が民間と協働した小学校のプール事業です。これまで、暑さなどの関係もあり水泳の授業で約 3 分の 1 の生徒が見学していたそうですが、今回の事業で室内に変わると出席率が上がったという報告がありました。また、障害のある子どもも参加するようになったそうです。</p> <p>また、市内に大学・短大が五つもあるという強みを生かし、筑紫女学園大学を中心にキャンパススマイル事業も展開しています。この事業は、大学と連携し、不登校児童の居場所、学びの場をつくるものです。専門性を持った学生たちと交流することで、子どもの学びにつながり、また小学校の出席にもかえています。また、全国で四つしかない国立博物館もあり、太宰府自体が歴史あるまちでもあるので、普段から子どもたちが歴史に触れられる環境にもあります。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症関連の予算を使い、小・中学生にパソコンを 1 人</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>1台配布する予定です。今後、再び長期の休校になった場合や不登校の子どもには、自宅で利用できるパソコン、Wi-Fiの貸し出しも検討中ですし、LINEを使った学習も間もなく開始します。</p> <p>(教育長)</p> <p>太宰府市は学問のまちでもあることから、教育に力を入れており、予算もたくさんいただいております。また、来年度から中学校の制服が、経済性、機能性、耐久性に優れた新制服へと変わります。そのように、いろいろな施策を進めております。</p>
	意見 2	<p>韓国など海外ではWi-Fi環境が充実しているが、インバウンド向けに整備するなどの施策はあるのか。</p>	<p>(観光経済部長)</p> <p>太宰府天満宮や竈門神社、観世音寺、大宰府政庁跡など主な観光スポットについては、今年度中にWi-Fiの整備が終わる見込みです。</p> <p>太宰府市はこれまで、歴史と文化の環境税という特別な財源があり、他の観光地と比較してもインバウンド向けの整備は進んでいる方であると自負しております。ただし、市内全域にWi-Fiを整備できるかどうかという、昨年でも通信費が年間で約150万円、さらに補修費に約30万円も掛かっており、難しいのかなと感じております。</p>
質問者 4	意見	<p>1月7日に鬼すべがある。コロナ禍の中、参加者の人数を減らして実施する方向で進めているが、本当はたくさんの子どもに参加してもらいたい。どう思われるか。</p>	<p>(市長)</p> <p>何らかの形で実施してもらいたいと思っておりますが、1月の感染状況次第になるのではないかと思います。</p> <p>(教育長)</p> <p>小学校の新型コロナウイルス感染症対策についての現状をお伝えすると、校舎の隅々まで消毒をし、手洗い・換気の徹底、密を避けるなどの取り組みをしています。また行事をする際は、協議と準備を重ねた</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>上で感染症対策を徹底し、実施している状況です。修学旅行もバスの台数を増やし、部屋も6人部屋を3人で使用するなど、気を使っております。地域の方の願いもありますので、現状を踏まえ、お考えいただければと思います。</p> <p>(観光経済部長)</p> <p>私も鬼すべに参加したことがございますが、従来の方法だと密になります。行事をされる神社と氏子さんと自治会で協議していただき、安全な方法を考えていただければと思います。</p>
質問者 5	意見	<p>交通渋滞について、週末は赤い橋から降りて右折する際に渋滞していて危ない。正月の渋滞対策はどうなっているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>渋滞の要因として、太宰府市は7万人の人口に対して、100倍の観光客が訪れています。税収と歴史と文化の環境税だけでは整備はできません。例えば、観光特区として国の指定を受け、特別な補助をいただき整備していくのも方法の一つです。長い目で見て、対策を考えていかないといけないと思っております。</p>
質問者 6	意見 1	<p>参道に夜、若者が集まって大声を出しているのを、警察と連携し巡回をお願いしたい。また民泊について、新型コロナウイルス感染症が収束し、海外旅行者が増えてきた場合、治安に不安がある。</p> <p>参道で、ところどころ街灯がついておらず、暗いところがある。</p>	<p>(市長)</p> <p>青少年の件は、警察へパトロールなどを行っていただくよう、お伝えします。また、民泊の件は不安を解消できるように努めたいと思います。民泊が増えているのは、宿泊施設が少ないことが理由だと考えられます。コロナ禍で止まっておりますが、古民家を改修した宿泊施設も、西日本鉄道に進めてもらおうと思っております。</p>

	質問・意見等	区に対する回答
意見 2	<p>民生委員の負担が大きく、引き受けてくれる人がなかなかいない。民生委員も年配の人が多く、高齢者が高齢者をサポートしているのが現状。若者が引き受けてくれるような施策をお願いしたい。</p>	<p>(市長)</p> <p>民生委員の件は市として啓発し、民生委員の皆さんに聞き取りもし、改善に努めたいと思います。</p> <p>【後日回答：健康福祉部】</p> <p>令和元年12月1日に民生委員の一斉改選を行う前の11月に、民生委員の現状について意見を徴取しています。その中で、地域の中で自治会役員をしたりと日頃から活動されている方が、また民生委員になられるということも多く、特定の個人への負担が大きいものと考えられます。</p> <p>民生委員活動内容が仕事や学業をしながら、行うことはかなり厳しいと思われることから、活動内容の見直しを行う必要があると思われます。</p> <p>今後は、社会福祉協議会で活動している福祉委員や各自治会の福祉部会、老人会、子育てサークルなど、地域で活動している方々をつなげていくことで、民生委員の業務の役割を軽減していくことを検討したいと思います。</p> <p>また、継続的に民生委員の皆さんからの現状の把握につとめ、負担軽減のための取り組みを行うとともに、民生委員活動の啓発普及を行うことで、若い世代が民生委員活動に興味を持ってもらうこととします。</p>